



KFR・大阪府立大学大学院工学研究科海洋システム工学分野共催セミナー

## 耐航性能計算を見つめなおす

膨大な計算時間がかかると思われた CFD による耐航性能推定も、近年の計算機の発展により現実味を帯び始めました。一方で、従来から設計技術者・研究者に広く利用されてきたポテンシャル理論をベースとするストリップ法は、その簡便性のゆえに依然としてその価値は減じていないものと思われまます。むしろ、CFD が普及しつつある今だからこそ、CFD により導き出された計算結果を理解あるいは吟味するために、船舶流体力学的に合理的な近似に基礎を置くストリップ法を学びなおす必要があるといえるでしょう。今回の KFR 例会では、これまでストリップ法に触れる機会がなかったと思われる若手技術者・研究者を主な対象として、ストリップ法の理論と実用船型への適用について専門家から解説いただくとともに、これからさらに利用が期待される耐航性能分野での CFD の現状についても紹介いただきます。若手技術者・研究者に限らず、この分野に関心をお持ちの方々の多数のご参加をお待ちしております。

KFR 会長 田中 寿夫

— 記 —

### 第348回 KFR セミナー

- 日時：2020年10月29日（木）1400～1700
- 場所：Webexでの実施です。  
(詳細URLは後程、メールでお伝えします。)
- 参加費：無料，要事前登録

#### ・ゼロから学ぶストリップ法（飯田 隆人：大阪大学）

ストリップ法は60年以上前に登場した手法であるが、現在に至るまで多くの技術者・研究者に使われ続けている。今回はそんなストリップ法の原理や計算方法を、初学者にもわかりやすく解説する。

#### ・ポテンシャル理論による耐航性能推定の展開（吉田 尚史：ジャパン マリンユナイテッド）

ストリップ法を始めとする、ポテンシャル理論による耐航性能推定の展開と実用化に向けた取り組みについて、最新情報を含めた事例紹介により解説する。

#### ・耐航性能推定のためのCFD解析勘所（大関 昌平：シーメンスPLMソフトウェア）

ここではCFD解析において自由表面問題に広く一般的に使われているVoF(Volume of Fluid)法の概要を説明するとともに、耐航性能推定に適用するにあたり必要な勘所を解説する。

ご参加のお申し込みは、10月23日（金）までに下記URLでの受付をさせていただきます。以下のURLから入力をお願いいたします。

<https://forms.gle/s8hyTowMASHDR7t18>

以上